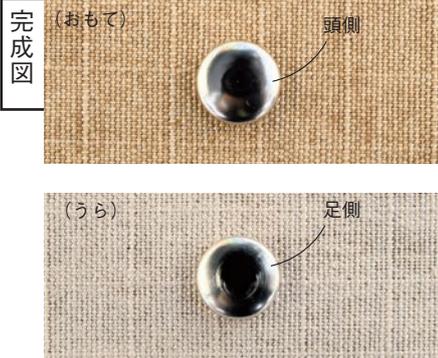


金具の付け方

カシメの付け方

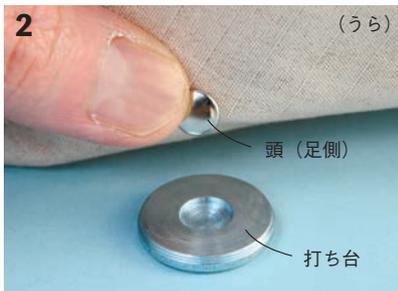
パーツを止め付けたり、補強や飾りのために付ける円形金具です。



頭の大きさはお好みで、足の長さは取り付け場所の厚み+3mmで選びましょう。



布地のうら側から足側の足を付け位置にポンチ等で開けた穴に差し込みます。



打ち台を硬くて平らな場所に置きます。足側の頭を打ち台の上にのせます。



頭側を足側の足にかぶせ、頭側の頭に打ち具を当てます。



打ち棒が動かないように垂直に持ち、足がつぶれてカシメが動かなくなるまでハンマーで叩きます。

マグネットボタンの付け方

磁石でできているボタンです。素材への負担が少なく、軽い力で開閉ができます。



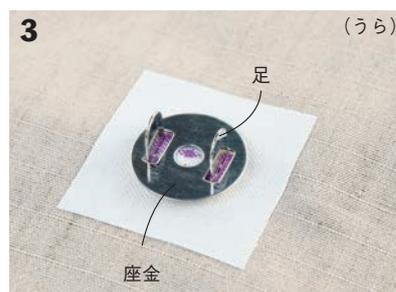
※打ち具なし



マグネットボタン付け位置の布地のうら側に、3cm×3cmの接着芯を補強のために貼ります。座金の中心と付け位置を合わせ、縦の線に印を入れます。



印を半分に折り、印に切り込みを入れます。



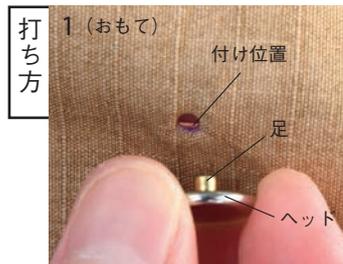
おもて側からマグネットボタンの足を2の切り込みに差し込みます。マグネットボタンの足に座金をかぶせます。



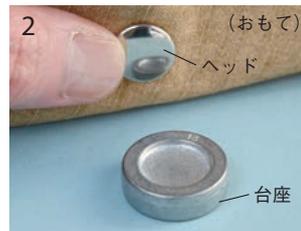
ペンチで足をはさみ、根元から左右に倒します。凹側も同様に付けます。※ペンチがない場合は指で折ってもOKです。

バネホックの付け方

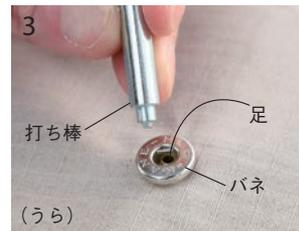
軽い付け心地のスナップタイプの金具です。バッグやポケットの口などに使用します。



付け位置に穴を開け、おもて側からヘッドの足を差し込みます。



台座を硬くて平らな場所に置きます。ヘッドを台座にのせます。



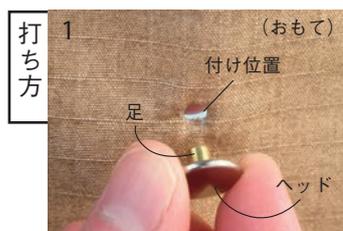
バネの凹側を上にして足にはめます。打ち棒の凸部分をバネの足にはめます。



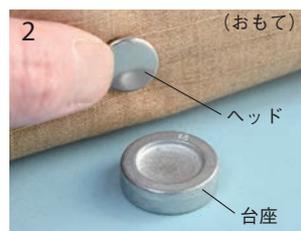
打ち棒が動かないように垂直に持ち、ヘッドの足がきれいに丸まり、ヘッド・バネが回らなくなるまでハンマーで叩きます。
※裏(凸)側も同様に付けます。

ドットボタンの付け方

強力に止まるスナップボタンです。



付け位置に穴を開け、おもて側からヘッドの足を差し込みます。



台座を硬くて平らな場所に置きます。ヘッドを台座にのせます。



バネの凹側を上にして足にはめます。打ち棒の先端を足に合わせます。



打ち棒が動かないように垂直に持ち、ヘッドの足がきれいに丸まり、ヘッド・バネが回らなくなるまでハンマーで叩きます。
※裏(凸)側も同様に付けます。

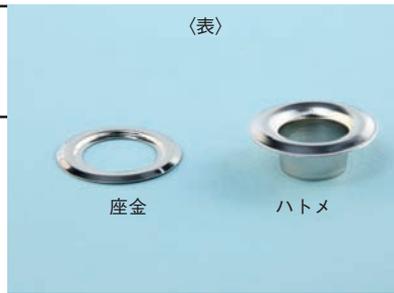
ハトメの付け方

補強や装飾のために穴に付ける金具です。

完成図



パーツ



打ち具

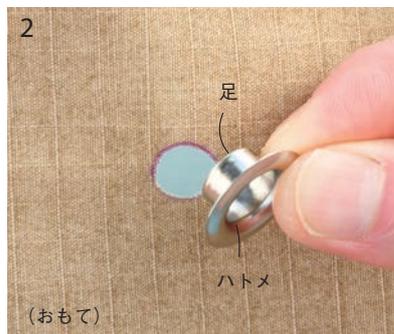


座金は丸みがあり、さわってツルツルする方が表です。

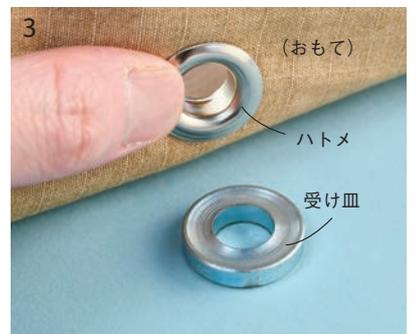
打ち方



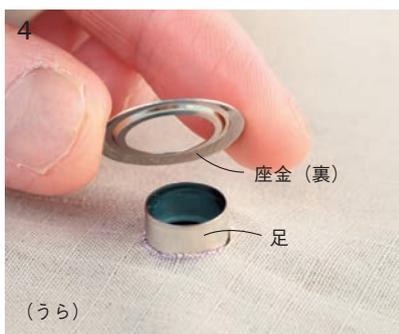
ハトメ付け位置に座金の中心を合わせて、内側の円をチャコペンなどでなぞります。なぞった線をハサミで切り抜いて穴を開けます。



開けた穴におもて側からハトメの足を差し込みます。



受け皿を硬くて平らな場所に置きます。受け皿にハトメのリングを合わせてのせます。



座金の表を上にしてハトメの足にかぶせます。



打ち具の凸部分をハトメの穴にはめます。



ハトメの足がきれいに丸まり、ハトメが回らなくなるまで、補助棒をハンマーで叩きます。